

熊本大学アーカイブ「ひのくに災史録」公開

日時

構築：2017年4月～

公開：2020年9月1日（火）～

経緯

2017年4月にデジタルアーカイブ室を設置し、熊本地震の記憶や教訓を記録し後世に伝えるために熊本大学アーカイブ「ひのくに災史録」の構築を進めてきた。

2017年は東日本大震災で数多くのデジタルアーカイブの構築に関わった東北大学災害科学国際研究所の支援を仰ぎ、共同研究を通してデジタルアーカイブの構築方法と資料収集や権利処理等のノウハウについて学び、学内資料収集のプロジェクトチームを編成し、熊本地震関連資料が散逸する前に資料収集数5万点を目標に資料収集を開始した。

2018年は、学外を含め継続して資料収集し、収集した資料をもとにキーワード等の検討・定義を行い、公開に向けデジタル加工を進めた。同時に、東北大学災害科学国際研究所のサーバーに熊本大学アーカイブ「ひのくに災史録」の構築し、加工済のデータを登録し、システム確認・改良を行った。

2019年も継続して資料収集およびデジタル加工を進めてきたが、位置情報が含まれていない資料（写真等）の作成（撮影）場所の特定にかなりの時間を要した。2020年9月の登録資料数は2,340点で公開を始めた。今後も継続して資料収集およびデジタル加工を進めて登録数を増やしていく予定である。

医療	三助	大学	乗り物	避難
インフラ	自然	建物	廃棄物	復旧・復興
会議録	市町村	建物内部	配慮	文化財
外構	地面	鉄道	橋	メール
古墳	城	道路	被害	その他
作業	設置物	土木構造物	人	

データの小分類項目 (2020年12月時点)



ひのくに災史録トップページ



データ検索ページ



データ閲覧詳細ページ